

第2回震災予防講演会

横浜の地震・津波をふりかえる

—来るべき地震に未曾有の称号を与えないために—

主催 一般社団法人日本地震工学会

後援 (予定) : 日本地震学会、土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会、
日本火山学会、歴史地震研究会 (順不同)

2011 (平成 23) 年 3 月 11 日の東日本大震災は、発生当初から未曾有の災害と言われてきたが、本当に未曾有だったのだろうか。明治三陸地震や慶長三陸地震さらには貞観地震など、歴史をふりかえれば同じようなことは何度かあった。歴史に刻まれた貴重な経験を生かせることができなかつたことが、被害をより大きくしたのではないだろうか。そのような事実を謙虚に受け止め、今後に向けて改めて横浜での地震・津波をふりかえてみたい。“来るべき地震に未曾有の称号を与えないために！”

日時 : 2012 年 2 月 3 日 (金) 13:00~16:30

場所 : パシフィコ横浜・アネックスホール 2 階 203 会場

(横浜市西区みなとみらい 1-1-1)

1. プログラム : 13:00~16:20

司会 磯打千雅子 (講演会企画部会・日本ミクニヤ(株))

13:00-13:05 開会挨拶 川島一彦 (日本地震工学会会長・東京工業大学)

13:05-13:35 “ふりかえり”の重要性 : 東日本大震災と関東大震災

武村雅之 (小堀鐸二研究所)

13:35-14:35 「東京湾における津波の経験と予測 : 今後の津波対策に向けて」

柴山知也 (早稲田大学理工学術院)

14:35-14:50 —休 憩—

14:50-15:50 「横浜の関東大震災—その時、市民は？」

吉田律人 (横浜市史資料室)

15:50-16:20 全体の質疑

2. 資料代 : 1,000 円 (当日引換)

3. 定 員 : 150 名 (先着順)

4. 申込方法

- (1) 参加の方は、「第2回震災予防講演会」として、氏名、勤務先 (参加者が2名以上の場合それぞれのお名前) 連絡先住所、電話番号、メールを明記して、メールまたはFAXのいずれかでお申込みください。
- (2) 参加証はメールまたはFAXにてお送りいたします。
- (3) 当日、参加証を持参の上、資料と引き換えてください。

5. 申込み・問合せ先 : 日本地震工学会事務局 ^{しぎはら} 嶋原 毅 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 電話 (03) 5730-2831、FAX (03) 5730-2830 メールアドレス : office@general.jaee.gr.jp